

**問題 2**

次の文章は、2004年にノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんが、2005年4月に東京で行われた環境問題に関する国際会議に寄せたメッセージの一部です。文章を読んで、あとの問い(1)～(3)に答えましょう。

初めて日本語の「もったいない」の意味を知った時、世界へのメッセージとして大事な言葉だと直感しました。私はまず、もったいないの精神的なルーツ\*1にとっても惹かれ\*2ました。そして、長年、環境問題に取り組むなかで掲げてきた合言葉「3つのR」(リデュース\*3・リユース\*4・リサイクル\*5)を、たった一言で言い表わしているのが素晴らしいと思いました。私たちが住む地球を破壊に追い込む深刻な脅威\*6を減らすには、資源の無駄遣いをなくし、使えるものは再利用し、そしてそうでないものはリサイクルするしかありません。



ワンガリ・マータイ

さて「3つのR」は実用的であり、先見性にたけたビジョン\*7なのです。つまり、これは政府や企業にあてはまるだけでなく、また一方で、皆さんの地元や都道府県だけに限られるものでもありません。誰もが対象であり、私たち一人ひとりの生活のあらゆる面にあてはまるものです。「私になにができるの」と聞かれたら、私はいつも、「人間一人ひとりに変化を起こす力があるのよ!」と答えます。「3つのR」こそが、将来の世代へとつなぐ健康的できれいな世界をつくることに不可欠なのです。

(プラネット・リンク編「もったいない」から)

- \*1 ルーツ：元となる考え
- \*2 惹かれる：心が引きつけられる
- \*3 リデュース：消費を少なくし、ごみを減らすこと
- \*4 リユース：くり返し使うこと
- \*5 リサイクル：使い終わったものや使えなくなったものをつくり直したり、別のものにつくりかえたりして、また使えるようにすること
- \*6 脅威：おそれ、おどし
- \*7 先見性にたけたビジョン：将来を見通した計画や考え

(1) マータイさんは、「もったいない」という言葉は世界へのメッセージとして大事な言葉だと直感したと言っています。マータイさんがそのように感じた理由の1つは、もったいないの精神的なルーツにとっても惹かれたからだと考えられます。このほかに、この文章から考えられる理由を書きましょう。

(2) 「私たちが住む地球を破壊に追い込む深刻な脅威」の1つとして、環境問題が考えられます。あなたが考える環境問題の具体的な例を2つ書きましょう。

(3) あなたが日ごろの生活の中で、「もったいない」と感じているものを取り上げ、それを取り上げた理由と、ものを大切に無駄にしない社会をつくるために私たち一人一人ができることについて、あなたの考えを200字程度(少し多くても少なくともかまわない)で書きましょう。

注意

- 題名や自分の名前を書く必要はありません。
- 1行目の1マス目から書き始めてください。段落を設けずに続けて書いてください。
- 書き終えたあと、つけ加えたり、けずったりしてもかまいません。そのときは全部消して書き直す必要はありません。次の例のように直しましょう。

町に					あふれて														
私	は	も	の	が	た	く	さ	ん	あ	ふ	れ	か	え	っ	て	い	る	と	思